

平成28年度 第2回 倉吉市生徒指導対策推進会議

倉吉市教育委員会学校教育課

1 目的

倉吉市立小中学校における不登校等生徒指導上の諸課題について、各学校の教職員による情報交換及び協議を行い、課題解決に向けた学校体制づくりを推進する。

2 講師 井上 雅彦 氏（鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座教授）

3 対象者 倉吉市立小中学校 養護教諭、教育相談担当者 等

4 実施日 11月24日（木）14：00～16：45

会場 関金総合文化センター 大会議室

5 主催 倉吉市教育委員会学校教育課

6 内容

（1）講義「不登校傾向児童生徒の評価と対応」

- 講師の臨床経験をもとに、不登校になるきっかけや不登校の実態、また、不登校状態を把握するための評価や対応についてご示唆いただいた。
- 不登校は治療より予防が大切であり、そのためには長期化させないための早期対応を徹底して行うことの重要性をご教授いただいた。
- 不登校対策を担任に任せるのではなく、学校としてシステム化するためのポイントを、具体的な事例を示しながらご教授いただいた。

（2）演習「不登校児童生徒の早期対応体制づくりについて」

- 「学校での不登校対策チェックシート」を利用しながら、自校の不登校対応について点検をした。井上先生が示された9つの項目について、4段階で評価し、何ができているのかできていないのかを明確にすることができた。その後、不登校児童生徒への早期対応や支援体制などについて、各校の具体的な取組の発表をしていただき情報交換を行った。

（3）参加者の感想

- 長期欠席15日～30日に注目することが、不登校の未然防止になり、ランクをつけて内容がアップすれば成果を全職員で成果を共有する。確かに成果を一つひとつ見える化することは、私たち職員のモチベーションが上がって良いと思う。
- 不登校児童に対して、「登校しやすい環境をつくる」という内容がとても参考になった。個人の状況に応じてどのような環境設定が必要なのか、しっかり見極めていかなければならないと思った。
- 普段から、不登校担当の教諭と情報交換や相談をしながら対応等を行っていますが、今回改めて対応についてチェックすることで、成果と課題が明確になってきたように思います。また、他校の様子を伺うことで今後の対応の参考になりました。
- 不登校のきっかけは「学業不振」が中高と年齢とともに増えていくことが分かりました。一番良くないのが「様子を見るだけ」ということ。今、不登校になってきた子の様子を見ているだけの行為が、決して本人のためになっていないことがよく分かりました。